

積水化成工業株式会社は2019年1月16日(水)～18日(金)の3日間、東京ビックサイトで開催された「クルマの軽量化技術展」(主催:リードエグジビションジャパン(株))に出展した。この展示会は自動車の軽量化に必要なあらゆる素材・材料、軽量部品が一堂に出展される展示会であり、「オートモティブワールド2019」のひとつとして開催された。

この展示会において積水化成は、当社のFRP成形品が外装部品(14部品)として採用されたホンダアクセスの「S660 Neo Classic」を展示し、来場者の注目を集めた。また、CFRP複合発泡成形体「ST-LAYER」やポリスチレン・ポリオレフィン複合樹脂発泡体「ピオセラン」だけでなく、ポリマー微粒子「テクポリマー」なども展示し、自動車の軽量化につながる自動車部材や部品輸送梱包材を多数紹介した。

「ST-LAYER」

発泡体にCFRP(炭素繊維強化プラスチック)を積層させた複合材料。CFRP単体や金属では実現できなかった高強度、軽量性、衝撃吸収性など優れた特長を有する。また、形状自由度が高く、さまざまな形状設計や物性に対応可能。

本展示会では、「ST-LAYER」の自動車用ボンネットを展示・紹介した。

「ピオセラン」

ポリスチレンとポリオレフィンを複合させた高機能発泡体で、ポリスチレンの持つ剛性と高発泡性とポリオレフィンの強靱かつしなやかさを合わせ持っている。軽量かつ耐衝撃性、耐磨耗性、耐薬品性に強い。そのため、軽量性、安全性、低コスト、環境適応性などが求められる自動車部材や自動車部品輸送梱包材、家電・IT梱包材などで数多く採用されている。

本展示会では「ピオセラン」の成形品であるシート芯材やツールボックスなど各種自動車部材を展示・紹介した。

